

法人市民税の更正の請求書

法人番号
800020272124
管理番号

受付印 年 月 日 八尾市長 宛	(ふりがな) 法人 名 代表者の氏名 〇〇商業 株式会社	まるまるしょうぎょう 〒 581 - 1111	国税庁から通知されている13桁 の法人番号を記載してください。
	法 地 ※必須 八尾市が支店等の場合 は本店所在地と併記	八尾市本町1-1-1	
	この届に回答する者の氏名	電話 (123) 456 - 7890	

地方税法第 条 の規定に基づき、次のとおり更正の請求をします。

更正の請求の対象となる事業年度又は連結事業年度		年 月 日から	年 月 日まで
摘 要		更正の請求前	更正の請求後
課 税 標 準	(使途秘匿金税額等) 法人市民税の規定によって計算した法人税額 ①	() 円	() 円
	試験研究費の額に係る法人税額の特別控除額 ②	円	円
	国際戦略総合特別区域において機械等を取得した場合等の法人税額の特別控除額 ③	円	円
	還付法人税額等の控除額 ④	円	円
	退職年金 ⑤	円	円
	課税標準 (①+②) ⑥	円	円
	分割基準数(八尾市分/全従業員数) ⑦	人 / 人	人 / 人
	2以上の市町村に事務所又は事業所を有する法人における課税標準となる法人税額又は個別帰属法人税額 ⑧	円	円
法 人 税 割	法人税割額 ⑨	税率 100 円	税率 100 円
	外国の法人税等の額の控除額 ⑩	円	円
	仮装経費 ⑪	円	円
	租税条約 ⑫	円	円
均等割	課税標準の算定期間中において事務所等を有していた月数 ⑭	月	月
均等割額 ⑮	円	円	
⑯	円	円	

課税標準及びこれから控除する金額並びに欠損金額等を記載してください。

納付すべき税額及びその計算上控除する金額並びに申告書に記載すべき還付金額に相当する税額及びその計算の基礎となる税額を記載してください。

資本金等の額、従業員数の増減により均等割額が変更になる場合は記載してください。

還付請求額

法定納期限 年 月 日	第1号の判決等の確定日 年 月 日
第2号の更正・決定等のあった日 年 月 日	第3号の政令で定める理由が生じた日 年 月 日
国の税務官署の更正の通知日 年 月 日	

更正の請求の理由 (この請求をすることとなった事情、その他参考となるべき事項)

法人税の更正による更正の請求の場合は、法人税額等の更正通知書のコピーを添付してください。

*この更正の請求が、租税条約等の実施に伴う所得税法、法人税法及び地方税法の特例等に関する法律第7条第1項に規定する合意に基づく国税通則法第24条又は第26条の規定による更正に係るものである場合には、「租税条約の実施に係るもの」と記載してください。

連結親法人の本店所在地及び電話番号 〒 -	この更正の請求により還付が生じた場合、口座振込により還付しますので、還付を受けようとする金融機関名等を記載してください。
(ふりがな) 連結親法人の名称	

金融機関名・支店名 銀行 信用金庫 本店支店 組合 営業部	担当税理士 氏名・連絡先
預金種別 普通・当座・その他 () 口座番号	
フリガナ 口座名義人	電話 () -